

1 愛知県の人口

平成12年国勢調査による平成12年10月1日現在の愛知県の人口は704万3300人で、この5年間で17万4964人、率にして2.5%増加しました。

これを、男女別にみると、男性は352万5698人で、この5年間で8万6518人、率にして2.5%、女性は351万7602人で、この5年間に8万8446人、率にして2.6%それぞれ増加しました。この結果、性比(女性100人に対する男性の人数)は100.2となりました。

人口の増加は昭和25年以来10%以上の高い増加率を続けてきましたが、昭和50年から55年には5.0%増と一桁の伸びにとどまり、この5年間で2.5%増と戦後最低の増加率となりました。

人口を地域別にみると、尾張地域が484万5689人(県人口の68.8%)で、この5年間で2.2%の増加、西三河地域が143万8396人(同20.4%)で4.2%増、東三河地域が75万9215人(同10.8%)で1.7%増となり、西三河地域が高い伸びを示しています。(図1、表1)

また、人口密度は1366.3人/km²となり、この5年間で32.4人/km²増加しました。

図1 人口の推移

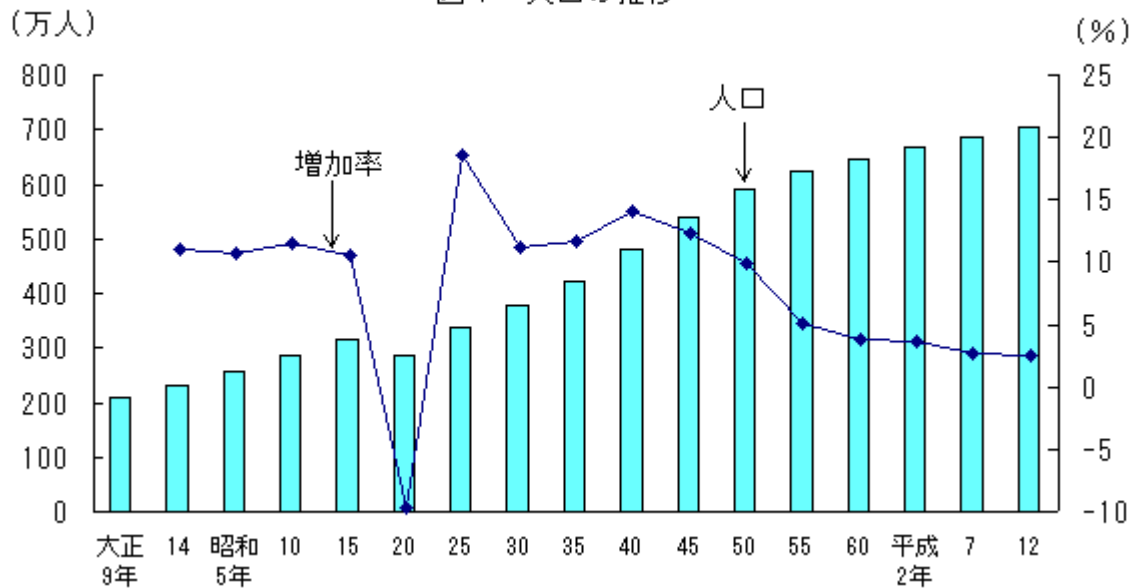


表1 地域別人口(単位:人、%)

地域	平成7年	平成12年
愛知県		
人口	6,868,336	7,043,300
増加率	2.7	2.5
構成比	100.0	100.0
尾張地域		
人口	4,741,233	4,845,689
増加率	2.1	2.2
構成比	69.0	68.8
西三河地域		
人口	1,380,279	1,438,396
増加率	4.7	4.2
構成比	20.1	20.4
東三河地域		
人口	746,824	759,215
増加率	2.3	1.7
構成比	10.9	10.8

市町村別にみると、名古屋市が217万1557人と最も多く、県人口の30.8%を占め、次いで、豊橋市36万4856人、豊田市35万1101人、岡崎市33万6583人となりました。

この5年間の増加率をみると、三好町が19.4%の増加で最も大きく、次いで藤岡町17.2%増、日進市16.4%増となりました。(表2)

人口の増加した市町村は名古屋市を始め59市町村で、逆に減少した市町村は蒲郡市を始め29市町村となりました。

表2 市町村別人口増減数及び率の上位、下位

(単位:人、%)

順位	人口増減数		人口増減率		
	市町村名	増減数	市町村名	増減率	
上位	1	名古屋市	19,373	三好町	19.4
	2	岡崎市	13,962	藤岡町	17.2
	3	豊橋市	11,874	日進市	16.4
	4	春日井市	10,034	東郷町	14.6
	5	豊田市	10,022	長久手町	12.5
下位	1	蒲郡市	-1,622	設楽町	-8.9
	2	南知多町	-1,596	旭町	-8.8
	3	鳳来町	-787	東栄町	-7.9
	4	渥美町	-757	津具村	-6.9
	5	常滑市	-671	豊根村	-6.8

2 年齢

愛知県の人口を年齢3区分別にみると、年少人口(0~14歳)は108万1280人でこの5年間で3万9712人、率にして3.5%減少しました。

県人口に占める年少人口割合は15.4%で、この5年間で0.9ポイント低下しました。この推移をみると、調査開始(大正9年)から昭和25年までは35~36%台で維持し安定していましたが、昭和30年(31.8%)から40年(24.0%)まで急速に低下しました。その後、昭和45年(24.3%)から55年(25.0%)まで上昇しましたが、昭和60年(22.4%)以降再び低下を続け、平成12年は調査開始以来、最も低くなりました。

年少人口指数は22.0で、この5年間で0.8ポイント低下しました。この推移をみると、昭和25年(58.8)から急速に低下を続け、昭和40年には33.9となった後、昭和45年(34.7)、50年(38.3)まで上昇しましたが、昭和55年(37.0)から再び低下を続け、平成7年は22.8、平成12年は22.0となりました。

生産年齢人口(15~64歳)は491万4857人で、この5年間で4238人、率にして0.1%減少しました。

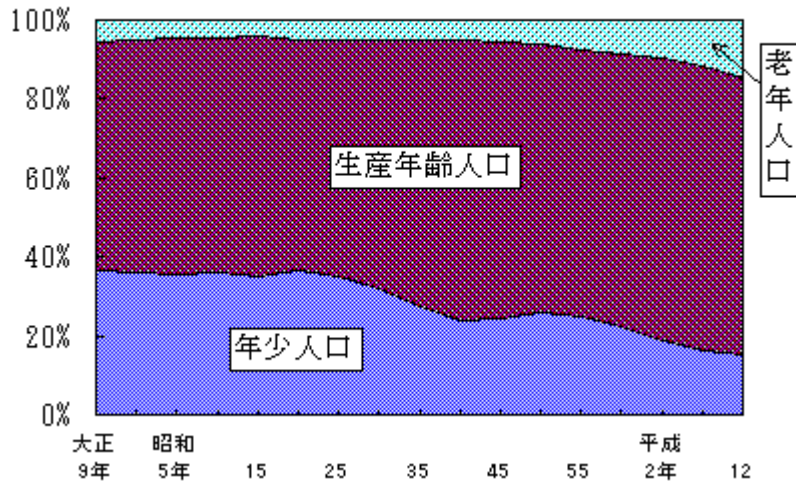
県人口に占める生産年齢人口割合は69.8%で、この5年間で1.8ポイントの低下しました。。この推移をみると、昭和25年(59.9%)から40年(70.7%)まで上昇を続けた後、昭和45年(70.0%)から55年(67.5%)まで低下しました。昭和60年(69.1%)から平成7年(71.6%)までは上昇しましたが、平成12年は再び下降し、69.8%となりました。

従属人口指数は42.8で、この5年間で3.4ポイント上昇しています。この推移をみると、昭和25年(67.0)から40年(41.3)まで急速に低下した後、昭和45年(42.9)から55年(48.0)まで上昇したものの、昭和60年(44.7)以降再び低下し、平成7年には39.4となりましたが、平成12年には42.8と上昇しました。

老年人口(65歳以上)は101万9999人で、この5年間で20万973人、率にして24.5%増加しました。

県人口に占める老年人口割合は14.5%と、この5年間で2.6ポイント上昇し、調査開始(大正9年)以来、平成7年から10%台となっています。この推移をみると、大正9年から昭和45年までは4~5%台を維持していましたが、その後は、一貫して上昇を続け、近年になるほどその傾向は高まっています。(図2)

図2 年齢3区分割合の推移



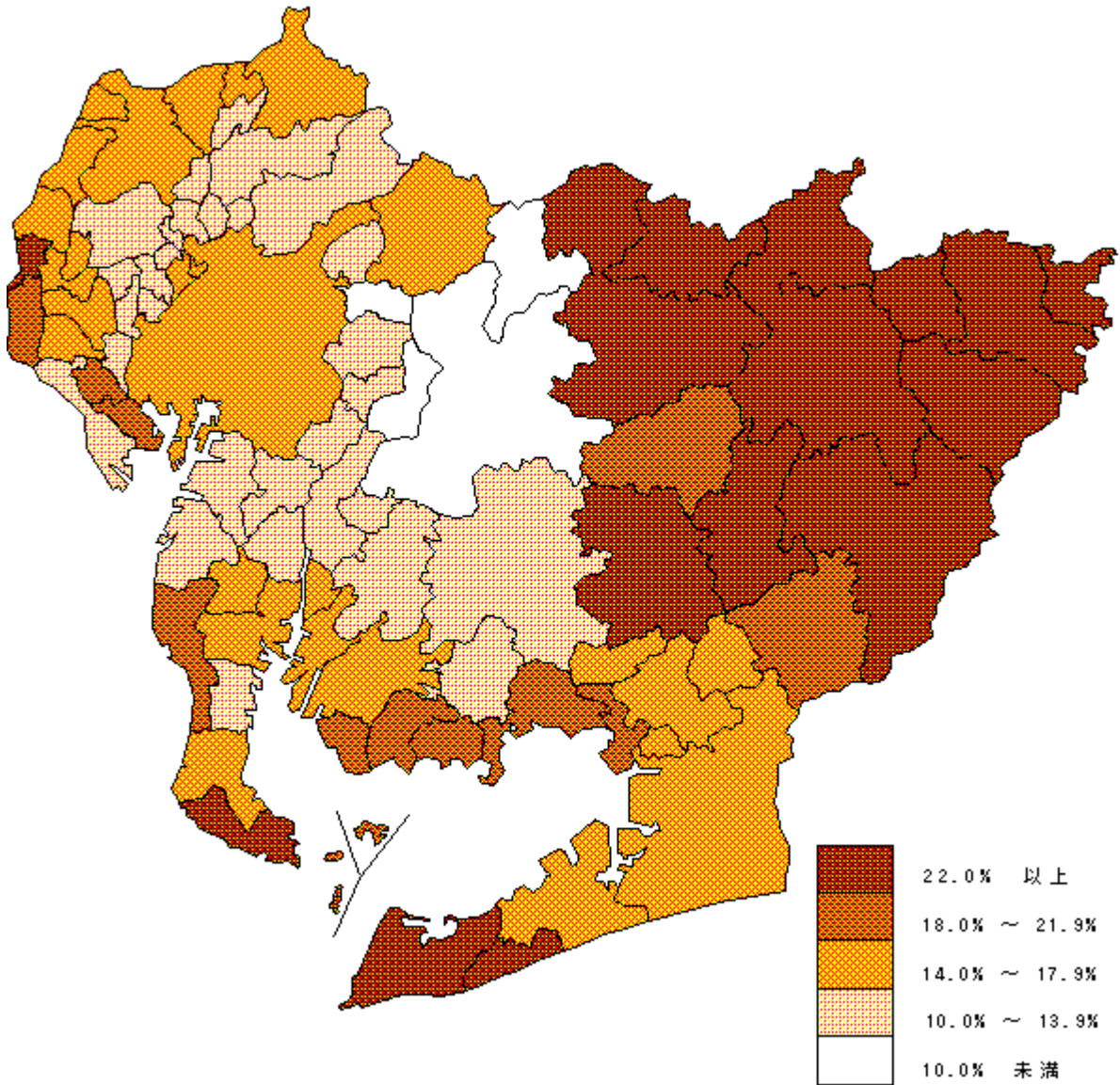
老年人口割合を市町村別にみると、豊根村(42.1%) 東栄町(40.3%)、津具村(37.7%)、富山村(36.4%)など三河山間部に老年人口割合の高い市町村が集中しています。一方、老年人口割合が低い市町村は、長久手町(8.5%)、三好町(8.9%)、藤岡町(9.2%)、豊田市(9.9%)などとなっています。(表3、図4)

表3 市町村別年齢3区分割合・年齢構成指数の上位・下位

(単位: %)

順位	人口				年齢構成指数								
	年少人口割合		老年人口割合		年少人口指数		老年人口指数		従属人口指数		老年化指数		
	市町村名	割合	市町村名	割合	市町村	指数	市町村	指数	市町村	指数	市町村	指数	
上位	1	藤岡町	25.2	豊根村	42.1	藤岡町	38.4	豊根村	89.4	富山村	115.5	豊根村	390.8
	2	下山村	21.8	東栄町	40.3	下山村	38.3	東栄町	82.2	豊根村	112.3	東栄町	378.9
	3	三好町	18.9	津具村	37.7	富山村	37.1	富山村	78.4	東栄町	103.9	津具村	331.9
	4	高浜市	17.9	富山村	36.4	作手村	28.6	津具村	74.1	津具村	96.4	設楽町	321.5
	5	安城市	17.4	設楽町	36.4	小原村	27.2	設楽町	69.5	設楽町	91.1	旭町	300.5
下位	1	東栄町	10.6	長久手町	8.5	春日町	18.4	長久手町	11.4	春日町	32.5	藤岡町	36.5
	2	豊根村	10.8	三好町	8.9	西春町	19.1	三好町	12.3	長久手町	33.4	三好町	46.9
	3	設楽町	11.3	藤岡町	9.2	七宝町	19.3	豊田市	13.5	西春町	34.9	長久手町	51.7
	4	津具村	11.4	豊田市	9.9	音羽町	19.5	藤岡町	14.0	豊田市	35.6	豊田市	60.7
	5	旭町	11.8	春日町	10.7	犬山市	19.9	春日町	14.1	師勝町	36.6	大治町	64.2

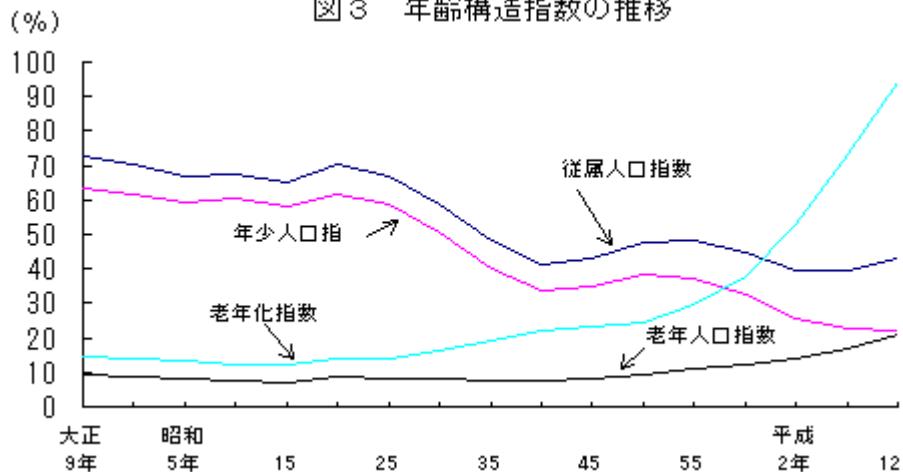
図4 市町村別老年人口の割合



老年人口指数は20.8で、この5年間で4.2ポイント上昇しました。この推移をみると、昭和25年(8.3)から40年(7.5)まで緩やかな低下を続けていましたが、昭和45年(8.2)以降は上昇を続け、近年になるほどその傾向は強まっています。

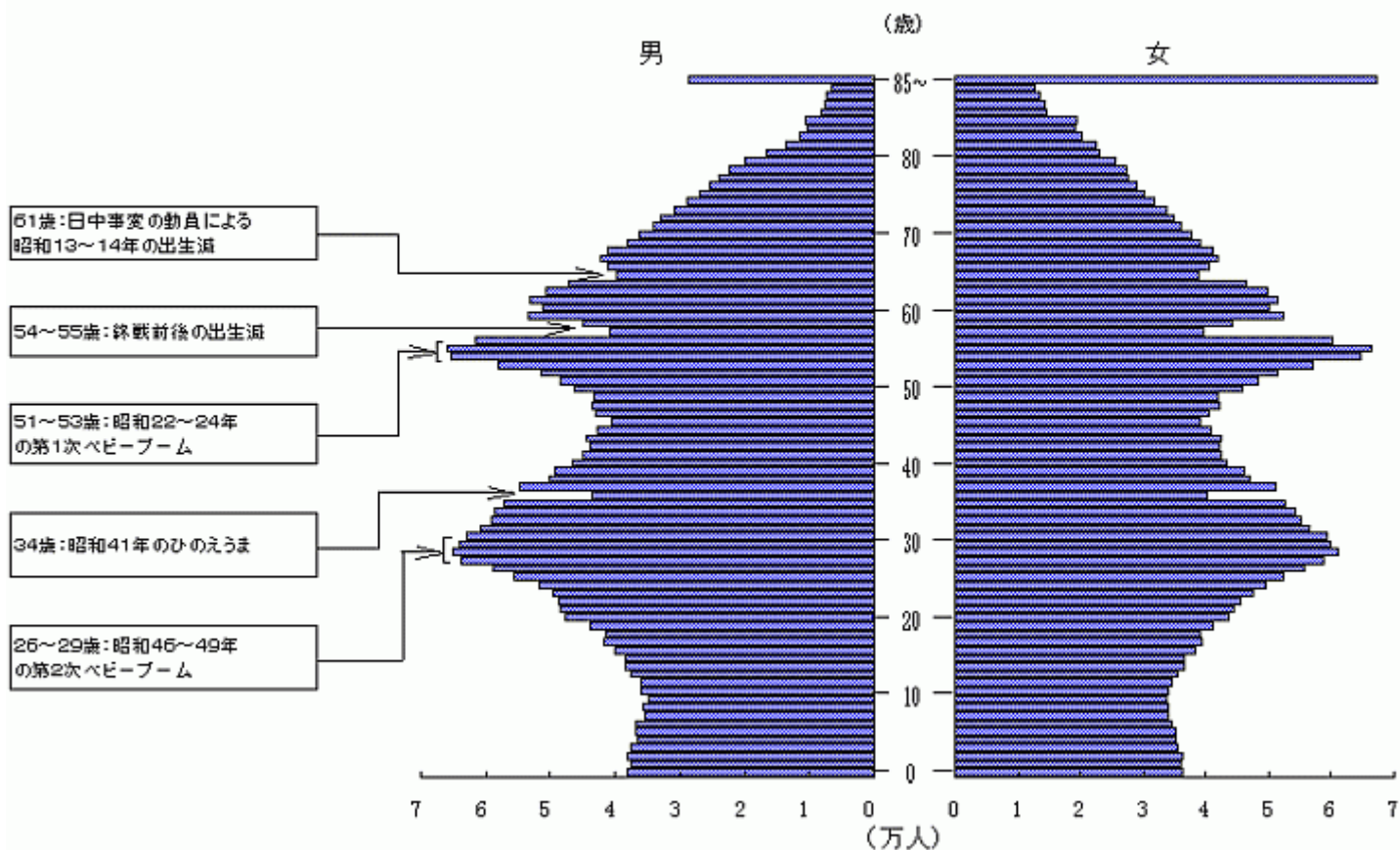
人口の高齢化の様子を敏感に示す指標の老年化指数は94.3で、この5年間で21.2ポイントと大幅に上昇しました。この推移をみると、昭和25年の14.1から一貫して上昇を続け、60年には37.8、平成2年は53.1、7年は73.1、さらに、12年には94.3と高齢化の程度が非常に高くなっています。(図3)

図3 年齢構造指数の推移



愛知県の年齢別人口を人口ピラミッドでみると、昭和25年には「富士山型」でしたが、平成12年では「ひょうたん型」に近い形になりました。(図5)

図5 愛知県の人口ピラミッド

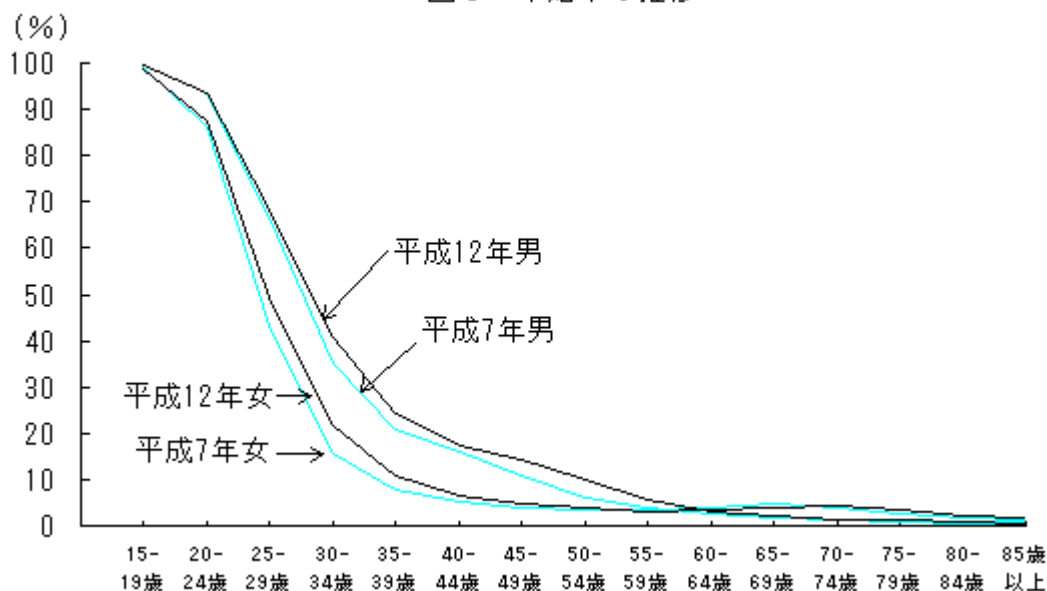


3 配偶関係

15歳以上人口を配偶関係別にみると、未婚者は、男性96万6185人(未婚率(15歳以上人口に占める未婚者の割合)32.7%)、女性70万6217人(同23.7%)となりました。

未婚率をさらに年齢5歳階級別にみると、男性は、30歳から34歳の階級で5.4ポイントの上昇を示しているほか、ほとんどの階級で上昇しました。女性は、15歳から19歳と55歳から69歳の4階級でやや低下しているものの、これらを除いた階級では上昇しており、なかでも、25歳から29歳で6.2ポイント、30歳から34歳で6.3ポイントとこの2階級で著しい上昇を示しました。(図6)

図6 未婚率の推移



また、有配偶者は、男性が182万2381人(有配偶率(15歳以上人口に占める有配偶者の割合)61.7%)、女性が181万3063人(同60.8%)となり、この5年間で女性は0.2ポイント低下しました。

死別者・離別者は男性が14万6923人(15歳以上人口に占める死別者・離別者の割合5.0%)、女性が45万2341人(同15.1%)となり、この5年間で男性は0.7ポイント、女性は1.1ポイントそれぞれ上昇しました。(表4)

表4 年齢階級別の配偶関係構成

(単位:%)

	年齢	平成7年			平成12年		
		未婚	有配偶	死別、離別	未婚	有配偶	死別、離別
男	15歳以上人口	33.7	61.7	4.3	32.7	61.7	5.0
	15～19歳	99.4	0.3	0.0	99.5	0.5	0.0
	20～24歳	93.4	6.1	0.2	93.4	6.4	0.2
	25～29歳	66.6	32.4	0.7	68.5	30.6	0.9
	30～34歳	35.1	63.0	1.6	40.5	57.5	2.0
	35～39歳	20.9	76.4	2.4	24.2	71.8	3.1
	40～44歳	15.9	80.3	3.4	17.4	77.9	3.8
	45～49歳	10.9	84.3	4.5	14.3	79.8	4.9
	50～54歳	6.2	88.1	5.3	9.9	83.2	6.0
	55～59歳	3.7	89.9	6.0	5.6	86.8	6.7
	60～64歳	2.4	90.2	6.9	3.2	88.4	7.6
	65～69歳	1.6	89.5	8.5	2.1	88.3	8.8
	70～74歳	1.3	87.1	11.5	1.4	86.5	11.3
	75～79歳	0.9	82.8	16.2	1.1	82.2	26.8
	80～84歳	0.6	74.7	24.6	0.7	76.0	21.9
	85歳以上	0.8	56.4	42.6	0.6	59.7	38.1
女	15歳以上人口	24.8	61.0	14.0	23.7	60.8	15.1
	15～19歳	99.0	0.7	0.0	98.9	1.0	0.0
	20～24歳	86.1	13.2	0.5	87.6	11.8	0.6
	25～29歳	43.3	54.9	1.7	49.5	48.2	2.2
	30～34歳	15.4	81.3	3.3	21.7	74.3	4.0
	35～39歳	7.6	88.0	4.3	10.8	83.2	5.7
	40～44歳	5.0	89.1	5.8	6.6	86.4	6.7
	45～49歳	4.1	88.0	7.7	4.6	86.8	8.3
	50～54歳	3.4	86.3	10.1	3.9	85.5	10.3
	55～59歳	3.5	82.4	13.9	3.2	83.1	13.3
	60～64歳	4.1	75.6	20.0	3.3	77.5	18.7
	65～69歳	4.6	65.7	29.4	3.9	68.6	26.9
	70～74歳	3.7	50.0	46.0	4.4	56.0	38.9
	75～79歳	2.4	31.9	65.4	3.5	37.9	57.7
	80～84歳	1.7	17.4	80.5	2.3	20.2	76.3
	85歳以上	1.4	5.8	92.3	1.6	7.2	89.8

4 世帯

世帯数は254万8219世帯で、この5年間で18万9700世帯、率にして8.0%増加しました。

このうち一般世帯は252万2824世帯、その世帯人員は694万2524人となりました。この5年間で一般世帯は17万4613世帯(7.4%)増加したのに対し、その世帯人員は14万8322人(2.2%)増加しました。この結果、一般世帯の1世帯当たり世帯人員は2.75人と、この5年間で0.14人減少しました。

一般世帯を家族類型別にみると、「親族世帯」は185万709世帯(一般世帯の73.4%)で、この5年間で9万8991世帯増加、「非親族世帯」は1万310世帯(同0.4%)で、この5年間で3402世帯増加、「単独世帯」は66万1805世帯(同26.2%)で、この5年間で7万2220世帯増加しており、「親族世帯」及び「単独世帯」の増加が顕著となっています。

「親族世帯」のうち、「核家族世帯」は150万8388世帯(一般世帯の59.8%)で、この5年間で11万7471世帯の増加に対し、「その他の親族世帯」は34万2321世帯(同13.6%)で、この5年間で1万8480世帯減少しました。

「父子世帯」は4869世帯(一般世帯の0.2%)で、この5年間で131世帯増加し、また「母子世帯」は3万1165世帯(同1.2%)で、この5年間で6896世帯増加しました。(表5)

表5 世帯の家族類型別一般世帯数、人員

(単位:世帯、人、%)

		総数	親族世帯			その他の親族世帯	非親族世帯	単独世帯	
			総数	核家族					
				総数	うち父子世帯				うち母子世帯
平成7年	一般世帯数	2,348,211	1,751,718	1,390,917	4,738	24,269	360,801	6,908	589,585
	増加率	8.7	6.0	7.9	-14.2	-3.4	-0.8	73.5	16.9
	構成比	100.0	74.6	59.2	0.2	1.0	15.4	0.3	25.1
	一般世帯人員	6,794,202	6,190,511	4,371,265	12,345	63,817	1,819,246	14,106	589,585
	1世帯当たり親族人員	2.89	3.53	3.14	2.61	2.63	5.04	1.00	1.00
平成12年	一般世帯数	2,522,824	1,850,709	1,508,388	4,869	31,165	342,321	10,310	661,805
	増加率	7.4	5.7	8.4	2.8	28.4	-5.1	49.2	12.2
	構成比	100.0	73.4	59.8	0.2	1.2	13.6	0.4	26.2
	一般世帯人員	6,942,524	6,259,787	4,587,729	12,692	83,155	1,672,058	20,932	661,805
	1世帯当たり親族人員	2.75	3.38	3.04	2.61	2.67	4.88	2.03	1.00

65歳以上の高齢親族のいる一般世帯をみると、70万8454世帯(一般世帯の28.1%)で、この5年間で12万3751世帯増加しました。

このうち、「高齢夫婦世帯」は16万8116世帯(一般世帯の6.7%)で、うち夫婦が共に65歳以上の世帯は12万3421世帯(同4.9%)と、高齢夫婦世帯全体の73.4%を占めています。

また、「高齢単身世帯」は12万3381世帯(一般世帯の4.9%)で、この5年間で3万8514世帯増加しました。これを男女別にみると、男性は3万2186世帯(高齢単身世帯の26.1%)で、この5年間で1万3191世帯増加、女性は9万1195世帯(同73.9%)で、この5年間で2万5323世帯増加しており、女性の単身世帯が圧倒的に多くなっています。

なお、「施設等の世帯」は2449世帯で、世帯人員は7万3612人となりました。(表6)

表6 65歳以上の高齢親族のいる一般世帯数

(単位:世帯, %)

		一般世帯 総数	うち65歳以上の高齢親族のいる世帯			
			総数	うち高齢夫婦世帯		うち高齢 単身世帯
				総数	夫婦ともに 65歳以上	
平成 7 年	一般世帯数	2,348,211	584,703	116,165	80,751	84,867
	増加率	8.7	21.6	50.2	54.6	43.1
	構成比	100.0	24.9	4.9	3.4	3.6
平成 12 年	一般世帯数	2,522,824	708,454	168,116	123,421	123,381
	増加率	7.4	21.2	44.7	52.8	45.4
	構成比	100.0	28.1	6.7	4.9	4.9

5 住居

住宅に住む一般世帯は243万5290世帯で、これを住宅の所有関係別にみると、「持ち家」が144万4579世帯(住宅に住む一般世帯の59.3%)で最も多く、次いで「民営の借家」67万2565世帯(同27.6%)、「公営の借家」13万6575世帯(同5.6%)、「給与住宅」10万35世帯(同4.1%)、「公団・公社の借家」5万8552世帯(同2.4%)「間借り」2万2984世帯(同0.9%)となりました。

この5年間に住宅に住む一般世帯は19万5622世帯(8.7%)増加しました。これを住宅の所有関係別にみると、「持ち家」が10.7%、「民営の借家」が8.1%、「間借り」が56.3%それぞれ増加しました。(表7)

表7 住宅の所有関係別一般世帯数

(単位:世帯、%、人、㎡)

		一般世帯数	住宅に住む一般世帯						
			総数	持ち家	公営の借家	公団、公社 の借家	民営の借家	給与住宅	間借り
平成 7 年	世帯数	2,348,211	2,239,668	1,304,800	132,413	58,594	621,894	107,264	14,703
	増加率	8.7	10.0	8.1	3.8	-0.6	17.6	8.0	2.2
	構成比	-	100.0	58.3	5.9	2.6	27.8	4.8	0.7
	1世帯当たり 人員	2.89	2.98	3.52	2.90	2.43	2.05	2.50	1.85
	1世帯当たり 延べ面積	-	88.0	120.4	50.0	46.1	39.8	51.0	30.6
	平成 12 年	世帯数	2,522,824	2,435,290	1,444,579	136,575	58,552	672,565	100,035
	増加率	7.4	8.7	10.7	3.1	-0.1	8.1	-6.7	56.3
	構成比	-	100.0	59.3	5.6	2.4	27.6	4.1	0.9
	1世帯当たり 人員	2.75	2.81	3.30	2.68	2.28	1.94	2.33	2.08
	1世帯当たり 延べ面積	-	93.5	125.5	53.4	48.5	44.4	53.8	43.8

6 外国人

外国人は11万298人で、県人口の1.6%を占めており、この5年間で2万1000人、率にして23.5%増加しました。これを男女別にみると、男性は5万4469人で、この5年間で8766人、率にして19.2%、女性は5万5829人で、この5年間で1万2234人、率にして28.1%それぞれ増加しました。

国籍別にみると、「韓国、朝鮮」が4万654人(外国人の36.9%)で最も多く、次いで「ブラジル」3万5780人(同32.4%)、「中国」1万2615人(同11.4%)、「東南アジア、南アジア」1万1674人(同10.6%)、「ペルー」3802人(同3.4%)となりました。(表8)

表8 国籍別、男女別外国人数

(単位:人、%)

		総数	韓国、朝鮮	中国	東南アジア、南アジア	イギリス	アメリカ	ブラジル	ペルー	その他
平成7年	総数	89,298	44,609	8,248	7,438	260	1,463	21,877	2,604	2,601
	男	45,703	21,869	3,989	2,656	170	911	12,825	1,572	1,596
	女	43,595	22,740	4,259	4,782	90	552	9,052	1,032	1,005
平成12年	総数	110,298	40,654	12,615	11,674	332	1,448	35,780	3,802	3,511
	男	54,469	19,467	5,753	4,044	208	938	19,555	2,064	2,188
	女	55,829	21,187	6,862	7,630	124	510	16,225	1,738	1,323
増加率	総数	23.5	-8.9	52.9	57.0	27.7	-1.0	63.6	46.0	35.0
	男	19.2	-11.0	44.2	52.3	22.4	3.0	52.5	31.3	37.1
	女	28.1	-6.8	61.1	59.6	37.8	-7.6	79.2	68.4	31.6

年齢別にみると、25歳から29歳が1万5323人(同13.9%)で最も多く、次いで30歳から34歳が1万5057人(同13.7%)となりました。